



テーマ
Theme

美術館を開き、お気に入りの美術作品から感じ取ったことを解説しよう

学校・園名
School name

大津市立膳所小学校
(6年生)

講師等
Lecturer etc.

MIHO MUSEUM /
滋賀次世代文化芸術センター

実施日
Date

平成26年6月26日

教科等
Subject etc.

国語

授業
Class



6年生3クラス109名が、MIHO MUSEUMの方を講師に迎え、国語科で学習した鳥獣人物戯画の模写にクラス毎に挑戦しました。

まず最初に、クラス全体で講師より鳥獣人物戯画について説明を聞きました。鳥獣人物戯画のレプリカは、約12m(長机7つ分)もあり、子どもたちは、場面毎に表情豊かに描かれている動物を食い入るように見つめていました。また、模写をされる講師の筆遣いもを見せていただきました。太い線、細い線、濃い墨、薄い墨を使い分けて描くより効果的に描けることがよく理解できました。

次に、先程説明を受けた巻物の中から一場面を選び、実際に描いてみました。模写をする前に筆圧を意識した太い線、細い線、墨の濃淡を使ってかすれた線、線が重ならないよう渦巻き等を練習しました。その後、スタッフの方々のお協力のもと、自分で選んだ場面の模写に、最後まで集中して取り組み、小学生とは思えないすばらしい作品に仕上がりました。

感想

Impression

児童の様子 Impression from Children

3クラスどこも大変満足した様子でした。実技の時間も、とても集中して筆を進めている子どもがほとんどで、「こんなに集中したの初めて」「休み時間もやりたい」といった声が聞こえました。出来上がった作品を嬉しそうに眺めている子どももいました。

学校より Impression from school

国語の授業の単元の中に、今回の連携授業を取り入れました。子どもに気づいてほしい視点や筆さばきによる効果等、その後の国語の読み取りに生きてくるお話を、お願いさせてもらったとおりにしていただきました。限られた時間の中で、多くの先生方にサポートしていただき、充実した活動となりました。

講師より Impression from lecturer

- アニメのルーツともいわれる、12世紀の鳥獣人物戯画を現代の小学生が模写をするという画期的で歴史ロマンを感じる授業をさせていただきありがとうございます。
何よりも子どもたちが興味を持って集中して取り組む姿に感動し、隠れた才能、新しい発見を本人、先生方が感じておられる様子を大変うれしく思いました。ぜひ次の授業や、次年度の授業にもつなげていただきたいと思います。
- レプリカを直に見て、絵解きをするこのプログラムでは、子どもたちの目が輝く姿を目の当たりにすることが多く、そのたびに鳥獣人物戯画のすばらしさに気づかされます。今回は先生のご要望もあり、6年生の国語の教科書に載っている「鳥獣戯画」を読む、という単元に、この鳥獣人物戯画のプログラムを連携させる授業として実現しました。レプリカを見て、話を聞いて、模写の取り組んだ3クラスの子どもの普段と違う劇的な変化を見せた姿に、初めて連携授業を体験された各担任の先生方も大変感激されたようでした。今回の体験が今後の解説文を作る活動にどのようにつながっていくのか、とても楽しみです。